



NO. 2624 回

日 時 : 令和 6 年 3 月 22 日 (金)
場 所 : マリオットアソシアホテル 16 階 アゼリア
出席者 : 52 名
一日議長 : 富澤 正会員
講 師 : 株式会社 FabCafe Nagoya 代表取締役
ロフトワーク 顧問 矢橋 友宏 氏
演 題 : 「人的資本経営が組織や社会を変える
ーメンバーのクリエイティビティを解放し、
オーナーシップを持った人材を引き寄せる方法ー」
勝事務局長からご紹介
ハッピーボックス : 10,000 円
キワニス文庫 : 80,000 円

☆今週のお誕生

山本 芳裕会員	3 月 16 日
森 不可止会員	3 月 21 日
石塚 慎吾会員	3 月 22 日

☆「もりの学舎まつり」についてご報告 紀村会長
3 月 17 日(日)に行われました「もりの学舎まつり」～キッズインタープリターのデビュー～についてご報告いたします。キッズインタープリター(子ども自然案内人)事業については、皆さんご高承のとおり、名古屋キワニスクラブ 50 周年事業の目玉の一つで、クラブ奨学金と二本柱の一つとして始まったもので、もともと愛知県が環境教育を充実する流れの中で、当時、鈴木元会長、後藤元会長、竹内元会長がお話しになって創設、協賛した事業で、毎年 30 万円を 10 年間にわたり助成していくというものです。この事業につきましては、2023 年の ASPAC 大会におきまして、「奉仕プロジェクト賞」の中で「最優秀賞」を受賞しており、対外的にも名古屋キワニスクラブを代表する事業の一つとなっています。

「もりの学舎」は、もともと愛・地球博の際に環境省が建てた施設を、その後愛知県が引き継いだ形で、自然体験や工作教室などを通じて楽しみながら環境学習を行っていく施設です。モリコロパークの中にあり、同パークの中にある話題のジブリパークとも近接しており、10 周年事業で「キワニスの森」を作った場所にあり、名古屋キワニスクラブと非常に関係が深いところでございます。「もりの学舎キッズクラブ」は、年間毎にテーマを決めた上で事業を展開されていますが、2023 年には「森を楽しむ」というテーマで展開されています。10 コマ置かれています。内 3 コマが名古屋キワニスクラブ協賛のキッズインタープリターの事業となっています。先般、事務局から報告がありましたが、1 月 14 日、2 月 11 日にも準備会合として開催されまして、キッズインタープリター達の創意工夫の下、大人のインタープリターの方のアドバイスを適宜踏まえ、自らしっかり内容を組み立てていくという事業になっています。その最後の成果のデビューを 3 月 17 日に行ったというものであります。当日は、お天気が気になりましたが、キッズインタープリター達の熱意、参加者の我々も含めて善行が叶ったのか、お天気はなんとか持ちまして快適に過ごすことができました。名古屋キワニスクラブか

No.2625 令和 6 年 3 月 29 日 (金)

【持出例会】

京都芸術大学 客員教授 杉本 宏 氏
「ラッキーボーイ藤原道長と信仰
ー道長の健康と女性から考えるー」
※通常の例会と、時間、会場が異なりますので、
ご注意ください。(会場:ラ・グラン・ブルドワ・キムラ)
※現地集合・現地解散です。

No.2626 令和 6 年 4 月 5 日 (金)

一般社団法人 日本自動車工業会
常務理事 江坂 行弘 氏
「2050 年カーボンニュートラルに向けた
自動車業界の課題と取り組み」

No.2627 令和 6 年 4 月 12 日 (金)

NPO 法人再非行防止サポートセンター愛知
理事長 高坂 朝人 氏
「自分と未来は変えられる
ー再非行を減らし、笑顔を増やしたいー」

No.2628 令和 6 年 4 月 19 日 (金)

【夜間例会】18:00~20:00

鈴木バイオリン製造株式会社
代表取締役社長 小野田 祐真 氏
「日本におけるバイオリン製造の歴史」

※昼間の例会はございません。

4 月 26 日・5 月 3 日は
祝日・GWのため休会です

ら、私の他、築山次期会長、松井副会長、小林次期事務局長、熊田青少年教育委員長、鈴木 信好会員、山本 光子会員、高橋 伸夫会員、川瀬 千賀子会員、事務局の高櫻さんの 10 名が参加致しました。最大の参加規模になっていると思います。

キッズインタープリターについては、17 名がこの日デビューし、親子連れで来られるお子さんも多かったのですが、様々なメニューに参加頂き、デビュー関係では全体で 89 名、その他のプログラムの参加者を含めると全体で 167 名とかなり賑やかなものになりました。メニューの中身は、キッズインタープリターの発案のもと、「森池ツアー」、森の素材を使ったクラフトを作成する「森のクラフト」、輪投げをして遊ぼうという「森のワーナーゲー」という 3 つのプログラムから構成され、キッズインタープリター達も笑顔で張り切って動いておりました。参加されている方々も生き生きとした感じでした。私は環境省の経験もございましたけれども、やはりこういう形でベースがしっかりして、若いころからリーダーシップを持って、環境に深い理解をもちアクションを起こすということは非常に重要なことであると思いますし、50 周年事業でこういった事業を盛り込まれた先輩達の慧眼には敬服する次第でございます。愛知県も HP 等では、キワニスの「協賛事業」ということを明示するなど大いに広報活動をなさっています。非常に良い実のある事業でございますので、来年以降も、キワニスクラブメンバーでご覧になっていない方がおられましたら、是非参加を検討いただきたく思いますし、近くにジブリパークもございますので、全体をパッケージで組んでいくと非常に良いのではないかと考えております。私も噂に聞いておりました「キワニスの森」がどの辺かということを確認できましたし、立派なプレートが埋め込まれており、非常に良いと思った次第でございます。こういった事業を続けていくことは非常に有意義だということを感じさせて頂きました。

☆「第 49 回 ASPAC 年次総会 アデレード大会」についてご報告 川村交流委員長

3 月 8 日・9 日に行われました、第 49 回の ASPAC は、オーストラリア 南オーストラリア州の州都アデレードで開催されました。登録者数は全体で 487 名、日本からは 44 名の参加でした。名古屋クラブからは荒島 正会員、相羽 博文会員、後藤 晴男会員、私の 4 名が参加いたしました。大会が始まる前日、3 月 7 日は、日本地区のメンバーが集い、夕食会が開かれました。名古屋クラブの 4 名も参加し、36 名のメンバー同士、大いに交流を深めました。

翌日 3 月 8 日から、ASPAC は、アデレード市の中心部にある、コンベンションセンターでスタートしました。開会式は例年、政府や自治体関係者も出席して、大掛かりなオープニングイベントで盛大に行われるものですが、今回は、執行部の紹介と挨拶、そして環境問題に関するゲストのスピーチのみといった、とてもシンプルな開会式でした。その晩は歓迎夕食会が行われました。こちらも例年のパーティーとは違い、開始時間が過ぎても何にも行われません。何もないうまま静かな会食が 2 時間続き、デザートが終わるところようやく動きがあり、表彰式が行われてそのまま終了といったパーティーでした。例年ですと、開催地が東南アジアということもあって、大音量の音楽やスピーチが続き、大変にぎやかなパーティーになりますが、今回の静けさには大変驚きました。

翌日、3 月 9 日(土)は総会です。総会の内容はお手元のレポートに詳しく書かれていますので、後でご覧になってください。

来年以降の ASPAC 開催地ですが、台中、マニラ、グアム、ニューデリーになることが予定されています。

総会の日晩は フェアウエルパーティーが開かれました。注目は文化プレゼンテーションです。各国各地区が趣向を凝らして、踊りや歌など披露しあい大変盛り上がりました。パーティーの最後に、表彰式がありまして、日本地区は、奉仕プロジェクト、ガバナー報告賞、文化プレゼンテーション、キワニスワンデー・グリーンジェネレーション・コンテスト、などが表彰され、日本地区の活動が光りました。以上です。

☆会務報告

- ・ 既にご案内をお送り致しましたが、昨年に引き続き「キワニス文庫事業」が、公益財団法人キワニス日本財団の令和6年度「テーマ募集型事業」として認められました。
つきましては、キワニス文庫に対する寄付へのご協力をお願い申し上げます。目安として、一口5千円からお願いしたいと考えております。なお、このご寄付については令和6年の所得税の控除対象となります。
- ・ 本日、キワニスドールを作る会を開催致しました。9名の方にご参加頂き、36個のキワニスドールを作成致しました。ご協力頂きました皆様には感謝申し上げます。
- ・ 4月19日(金)は夜間例会です。18時より講演、講演終了後からお食事の予定です。お酒のご提供もごさいます。講師は鈴木バイオリン製造株式会社 代表取締役社長 小野田 祐真様です。是非ご出席下さい。
- ・ 京都クラブより7月24日(水)の「祇園祭後祭例会」のご案内を頂きました。ご参加希望の方は5月17日(金)までに事務局までお申込み下さい。
- ・ 現在、お申込み受け中のゴルフ会は、5月18日(土)三甲ゴルフ倶楽部 京和コースです。オープン参加も大歓迎です。ぜひご参加下さい。
- ・ 4月5日(金)の麻雀大会の詳細をお送りしましたので、ご参加の皆様はご確認下さい。
- ・ 6月30日(日)ミュージカル『この世界の片隅に』の確認書をお送りしました。お申込み頂いて、確認書が届かない場合には事務局までご連絡をお願いします。
- ・ 音楽と観劇の会『リア王』のチケットを本日受付でお渡ししております。

☆Happyボックス

鈴木 信好会員ーラッキー賞

松井 徹(テツ)会員ーラッキー賞 (前回)

☆キワニス文庫 (順不同 敬称略)

浅野 幹雄	入谷 正章	紀村 英俊	庄野 隆寛	清水 元敦
下川 浩平	田中 一好	富澤 正	豊田 修水	

◎次回例会 令和6年3月29日(金)◎

【持出例会】京都芸術大学 客員教授 杉本 宏 氏

「ラッキーボーイ藤原道長と信仰ー道長の健康と女性から考えるー」

♪申込み受け中の行事

第310回ゴルフ会

締切【4/19】

日時：令和6年5月18日(土)

場所：三甲ゴルフ倶楽部 京和コース 10:36 スタート

麻雀大会

日時：令和6年4月5日(金) 例会後14:30～

場所：覚王山八洲園

祇園祭後祭例会 (京都キワニスクラブ主催)

締切【5/17】

日時：令和6年7月24日(水) 10:00～

場所：ホテルオークラ京都



第49回ASPAC年次総会 アデレード大会の報告

事務総長 山田明彦

2024年のASPAC大会はオーストラリア アデレードで開催されました。

登録者数は全体で487名、内日本からは44名でした。

その中には3名のSLP会員も含まれています。

※名古屋から荒島会員、後藤会員、相羽会員、川村会員参加

3月6日(水)

- ASPAC次期ガバナー研修会議

総会に先駆け、次期ガバナー研修会議が開催されました。

日本からは名越次期ガバナーが出席しました。



3月7日(木)

- ASPAC役員会



9:00 am-3:00 pmの長時間にわたり、ASPAC役員会が行われました。日本からは、宮崎ガバナー、吉田KCF理事、野間ASPAC SLP委員長、およびオンラインで小田ASPACガバナンス委員長の4名が出席しました。

- フォーラム

新しいテクノロジーを駆使しての会員増強をテーマとするフォーラムが開催されました。

- 日本地区夕食会

日本地区の会員・家族36名が参加しました。

※名古屋から4名参加

3月8日(金)

- KCFプレゼンテーション

ハイブリッドで行われたKCFプレゼンテーションでは吉田KCF理事が助成金についてのプレゼンをしました。



- ワークショップ

今回4つのワークショップが開催されました：

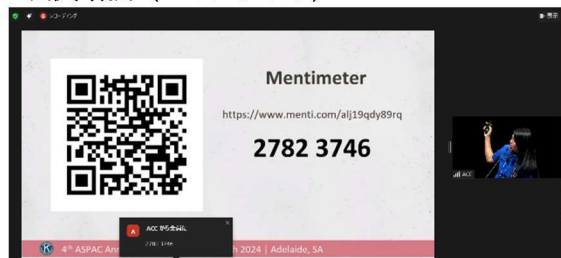
#1 ソーシャル・メディアの最大活用



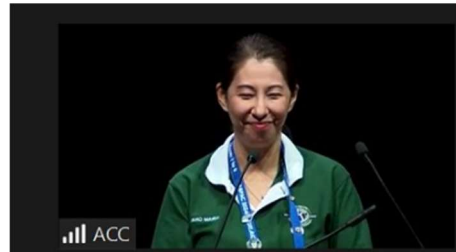
#2 グリーン・ジェネレーション

#3 SLPハイブリッド研修(ハイブリッド)

#4 会員増強(ハイブリッド)



この内、#3 SLP ハイブリッド研修では野間 ASPAC SLP 委員長が会場での進行を行ったほか、神戸のカネディアン・アカデミー・キークラブの映像が SLP 版グリーン・ジェネレーション・コンテストのファイナリストに選ばれました。



● 開会式



● 展示審査

日本地区の展示は沖縄クラブの「海あしびな-SUN フェスタ」。審査員には宮崎ガバナーが説明をしました。



● 歓迎夕食会

歓迎夕食会の席では、2月末現在 100 名以上在籍するクラブとして熊本・名古屋・東京・高松・福岡の 5 クラブにダイヤモンド賞、50 名～99 名のクラブとして神戸・埼玉・仙台・和歌山・広島・徳島・岡山・鹿児島・金沢・大垣・静岡の 11 クラブにプラチナ賞のバッジが贈られました。



また、ネパール地震への義援金に対し、ネパール地区から感謝の楯が贈られました。

3月9日（土）

● 総会

1. 各地区ガバナー・国代表の報告

宮崎ガバナーの報告に続き、鹿児島・群馬クラブの共同プロジェクト「カプセルアート」の動画が紹介されました。



2. ASPAC 規約改正案：

小田 ASPAC ガバナンス委員長がオンラインで提案をました。

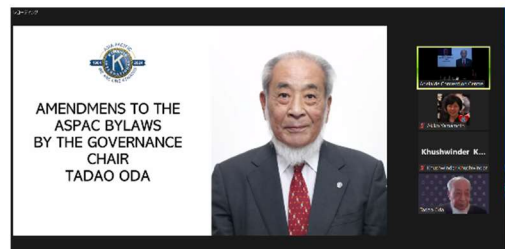
内容は、数字の表記を変えるなどの非本質的なものと、選挙についての本質的なもの。

本質的なものは、

従来の「ASPAC 議長選挙に際しての唯一の候補は ASPAC 次期議長」に加え、

「ASPAC 次期議長選挙に際しての唯一の候補は ASPAC 副議長」も規定するという内容です。

通訳の内容がきちんと伝わったかなど、慎重に確認された後、発声投票ですべて承認されました。



3. 選挙：次のメンバーが選出されました。

2024-25 ASPAC 議長	Huang Wu-Tien	台湾
2024-25 ASPAC 次期議長	Michelle Cordioli	ニュージーランド南太平洋
2024-25 ASPAC 副議長	Michael Chiew	マレーシア

なお、開票検査人の一人を宮崎ガバナーが務めました。

4. 将来の ASPAC 大会招致

将来の ASPAC 大会開催地が下記の通りに決まりました。

2025	台湾	2022 年 ASPAC 大会で決定済み
2026	マニラ	2023 年 ASPAC 大会で決定済み
2027	グアム	
2028	インド ニューデリー	

● 2023-24 及び 2024-25 ASPAC 合同役員会

日本からは宮崎ガバナー、吉田 KCF 理事、野間 ASPAC SLP 委員長の 3 名が出席しました。

この中で次の人事が決まりました。

2024-25 キワニス国代表	Ambrosio Constantino, MPA	グアム
	Judy King	香港

- 閉会式及びさよなら夕食会

1. 地区および国による文化プレゼンテーション

日本地区は、会議期間中集まった能登半島地震義援金の御礼とともに、ASPAC 地域全体で自然災害により被災した方々への応援の意味をこめて、和服姿の宮崎ガバナーが「上を向いて歩こう」を熱唱、その後ろで浴衣あるいは羽織を着た出席者が踊り、鳴子を使って場を盛り上げました。



2. 各賞受賞者の発表

日本は、長崎クラブの「平和を願う灯籠流し」で応募した奉仕プロジェクトが最優秀賞、ガバナー報告賞が第2位、文化プレゼンテーションが最優秀賞、更にはキワニスワンデー・グリーンジェネレーション・コンテストで東京クラブの作品が最優秀写真賞を獲得するなど、大健闘でした。



▲最優秀奉仕プロジェクト賞
長崎クラブ「灯籠流し」



▲キワニスワンデー・グリーンジェネレーション・コンテスト最優秀写真賞
東京クラブ「寺子屋 in 妙法寺」

令和6年能登半島地震への募金



今回出席したサークルK 芦屋の学生2名から現地で能登半島地震への募金をしたいとの申し出があり、合わせてキワニスでも募金を行いました。別途グアムから\$550の寄付もあり、キワニス側の募金総額は日本円への両替後175,037円となりました。

(学生さんの募金は350米ドル+85豪ドル+16,000円だったそうです。)



▲今回大活躍の SLP の皆さん
(グアムのメンバーを含む)

以上